八王子市市民活動支援センター
令和４年度　事業報告

八王子市市民活動支援センター
センター長　岡崎　理香

支援センター事業令和４年度を振り返って（概況）

令和4年度は引き続きコロナ禍の中、夏に大きな第8波があり、イベントやセミナーにも影響がありましたが、開館時間に関しては令和2年度以来3年ぶりに年を通して平常で運営できました。新型コロナウィルス感染症感染防止の措置を十分に考慮した開館でしたが、コロナ禍も3年に渡り、ウィズコロナが浸透したのか、利用者の協力もあり大きな混乱もなく施設運営ができました。少しずつ活動も元にもどる予兆が見えた令和4年度でした。

そのようななかで、コロナで活動に苦慮する市民や活動団体の支援になるような講座、イベントを多く取り入れました。令和2年度には1回だった支援講座を3年度には8回、4年度は10回実施し、密を避けるために1回あたりの定員を少なくし回数を増やして今必要な支援となる講座にしました。また回数を増やすことによる事業費を抑えるために、講師は外部からではなくスタッフが行う、会場は支援センターを使うなどの工夫をするなど、活動団体に直接、迅速に伝わるサポート事業を心がけた一年でした。

さらに、コロナ禍だからこそ、各団体の活動紹介、市民活動の啓発、発信にも力をいれました。コロナ禍で一層需要が増大したYouTubeを使い市民活動情報発信番組を企画するなど、新しいことにもチャレンジしました。

オープンしたばかりの大きな会場「東京たま未来メッセ」で開催した「NPOフェスティバル2022」も大盛況に終えることができました。

長引くコロナ禍ではありますが、ビジョン「私たち一人ひとりがつながって、夢をカタチにできる八王子」の実現を目指して、スタッフ一同「社会課題と市民・団体の力をつなぎ、市民が社会貢献活動に参加し、NPO・市民活動団体がチカラを発揮できるよう、さまざまな事業を通じ支援するような企画を行いました。

１．市民活動の促進のための施設の提供に関する事業

（１）施設利用状況

交流室	活性化室	フリースペース	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	電話相談	電話他	メール相談
786	753	1142	237	63	164	332	47	1408	4
685	606	624	126	72	122	150	42	1207	1

上段：令和4年度、下段：令和3年度

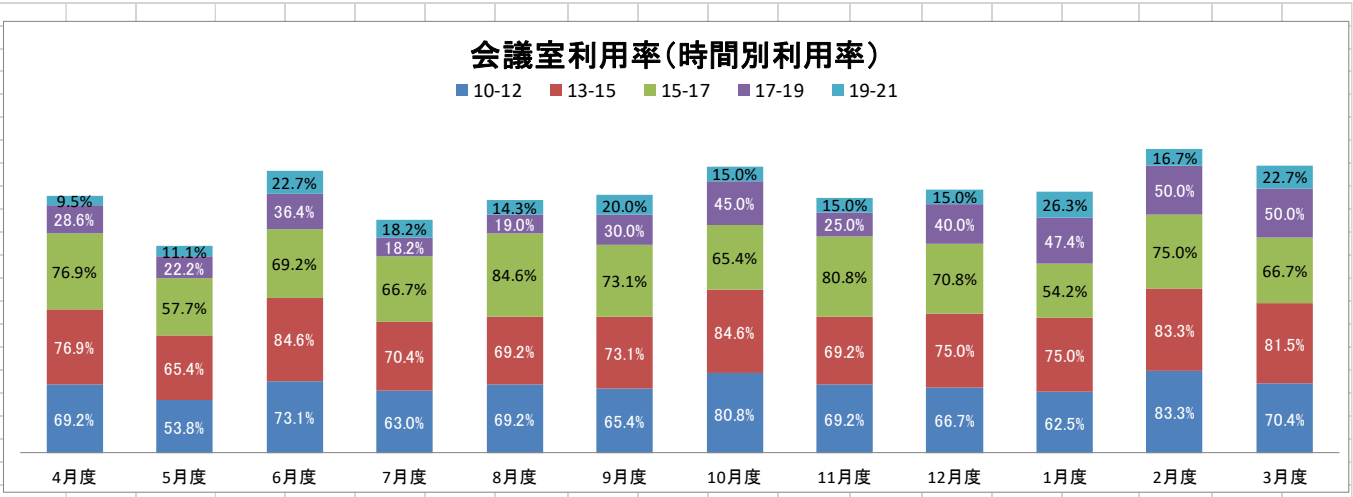
開館時間に制限があった令和3年度に比べて4年度は開館時間が通常の21時に戻ったこともあり、夜間の利用分も増加しました。3年度に比べてウィズコロナの対応にも慣れてきたこともあり、利用は3年度に比べて全体的に著しい増加となりました。特にフリースペースの利用は約2倍近くとなり、直接対面形式の相談も例年になく増加しています。月別では、やはり第8波の7～9月など新型コロナ感染症感染者が増加した月は利用も減少傾向でした。

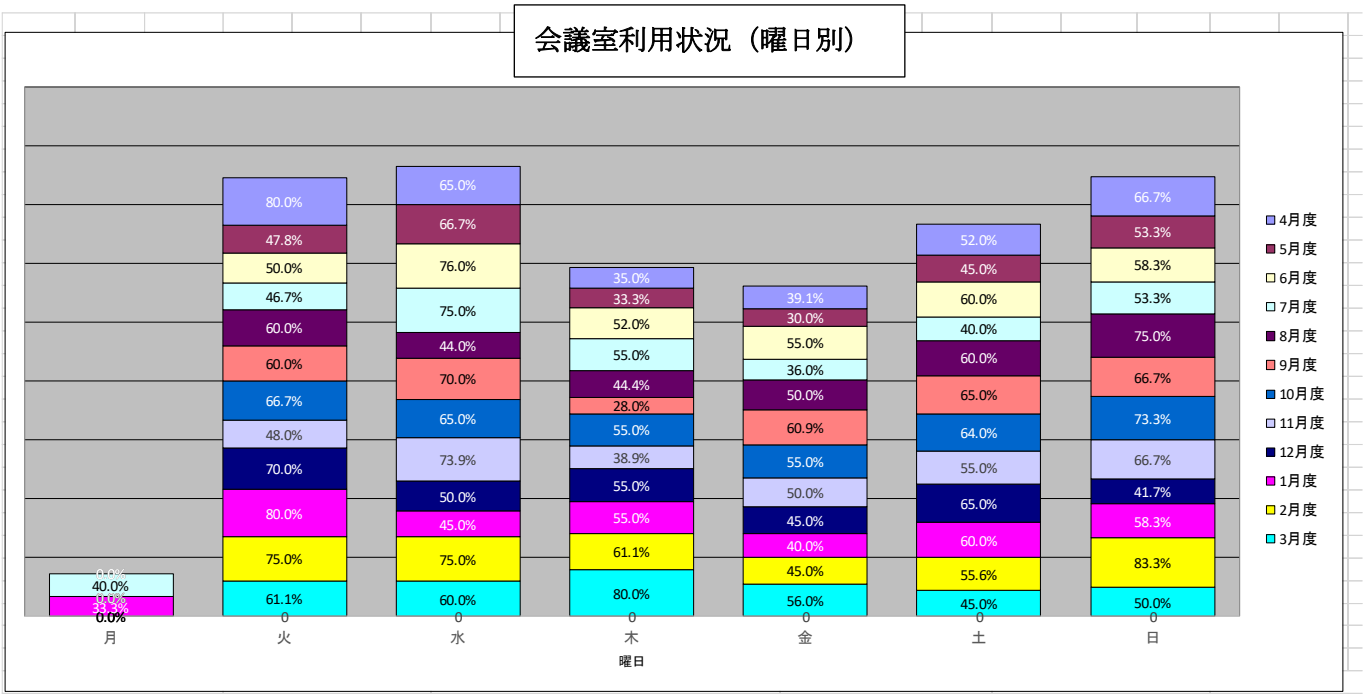
会議室利用状況（年間）

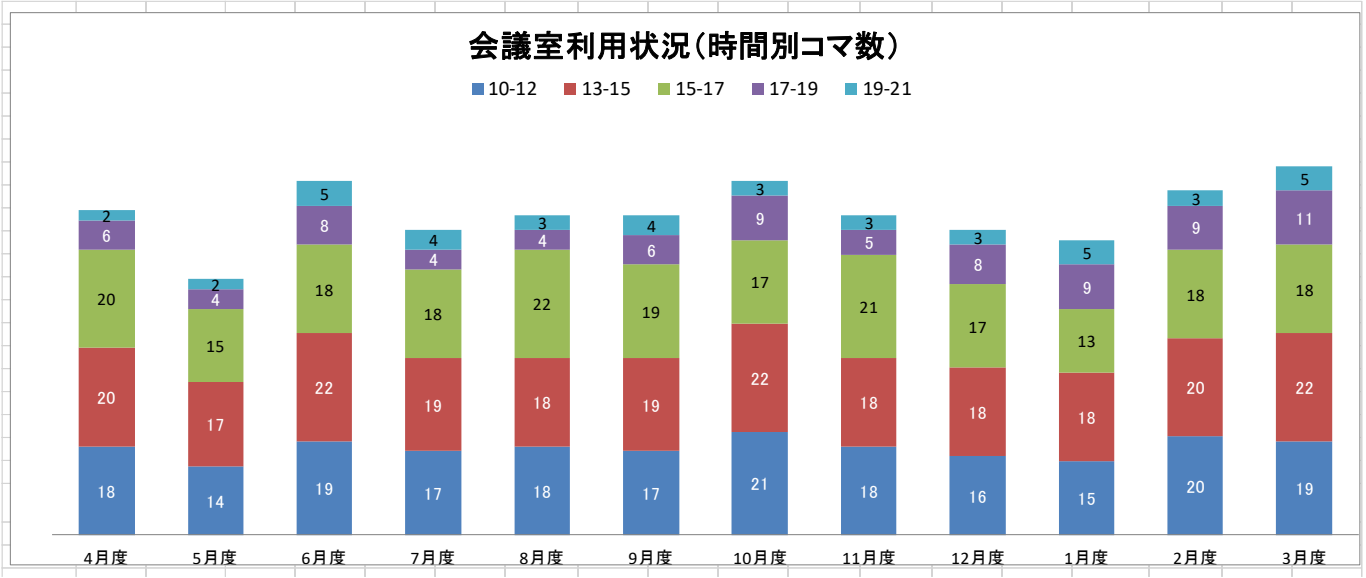
月	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	フリースペース	電話相談	電話他	メール相談		活性化室	月開館日数(A)	利用可能区分 会議室こま数(B)	実利用 会議室こま数（C）	会議室利用率(C/B)	センター無利用日数(D)	実利用 日数(E=A-D)	利用日数率(E/A)	利用団体数	利用者数
4月度	7	5	11	5	13	1	114	0		68	26	120	66	55.0%	1	25	96.2%	30	436
5月度	14	8	23	79	120	13	234	1		57	26	114	52	45.6%	1	25	96.2%	27	329
6月度	25	8	21	32	97	11	109	2		67	26	122	72	59.0%	1	25	96.2%	36	507
7月度	21	8	7	24	57	0	108	0		63	27	125	62	49.6%	1	26	96.3%	30	413
8月度	14	2	20	12	54	0	81	0		54	26	120	65	54.2%	1	25	96. 2%	28	448
9月度	27	4	18	11	81	10	80	0		55	26	118	65	55.1%	1	25	96. 2%	32	465
10月度	25	7	4	19	107	1	146	0		71	26	118	72	61.0%	0	26	100. 0%	20	488
11月度	20	5	10	20	105	3	135	0		66	26	118	65	55.1%	0	26	100. 0%	21	451
12月度	16	5	15	22	89	2	89	0		52	24	112	62	55.4%	1	23	95. 8%	29	424
1月度	23	4	9	41	130	2	106	0		55	24	110	60	54.5%	1	23	95. 8%	33	395
2月度	25	3	14	35	161	2	105	0		71	24	108	70	64.8%	0	24	100. 0%	30	486
3月度	20	4	12	32	128	2	101	1		74	27	125	75	60.0%	1	26	96. 3%	37	470
計	237	63	164	332	1142	47	1408	4		753	308	1410	786	55. 7%	9	299	97. 1%	353	5312

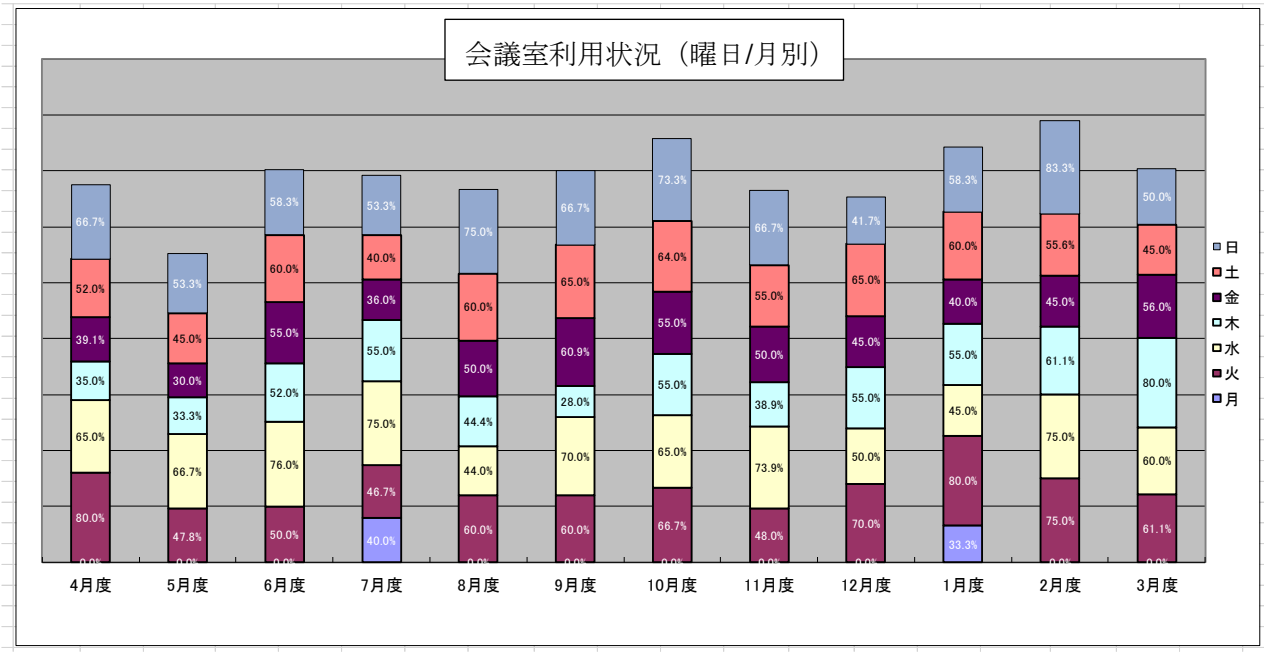
会議室利用状況（時間帯別）

区分	10-12			13-15			15-17			17-19			19-21			全区分小計		月
月	利用こま数	利用可能こま数	利用率	利用こま数	利用可能こま数	利用率	利用こま数	利用可能こま数	利用率	利用こま数	利用可能こま数	利用率	利用こま数	利用可能こま数	利用率	利用こま数小計	利用可能こま数小計	
4月度	18	26	69.2%	20	26	76.9%	20	26	76.9%	6	21	28.6%	2	21	9.5%	66	120	4月度
5月度	14	26	53.8%	17	26	65.4%	15	26	57.7%	4	18	22.2%	2	18	11.1%	52	114	5月度
6月度	19	26	73.1%	22	26	84.6%	18	26	69.2%	8	22	36.4%	5	22	22.7%	72	122	6月度
7月度	17	27	63.0%	19	27	70.4%	18	27	66.7%	4	22	18.2%	4	22	18.2%	62	125	7月度
8月度	18	26	69.2%	18	26	69.2%	22	26	84.6%	4	21	19.0%	3	21	14.3%	65	120	8月度
9月度	17	26	65.4%	19	26	73.1%	19	26	73.1%	6	20	30.0%	4	20	20.0%	65	118	9月度
10月度	21	26	80.8%	22	26	84.6%	17	26	65.4%	9	20	45.0%	3	20	15.0%	72	118	10月度
11月度	18	26	69.2%	18	26	69.2%	21	26	80.8%	5	20	25.0%	3	20	15.0%	65	118	11月度
12月度	16	24	66.7%	18	24	75.0%	17	24	70.8%	8	20	40.0%	3	20	15.0%	62	112	12月度
1月度	15	24	62.5%	18	24	75.0%	13	24	54.2%	9	19	47.4%	5	19	26.3%	60	110	1月度
2月度	20	24	83.3%	20	24	83.3%	18	24	75.0%	9	18	50.0%	3	18	16.7%	70	108	2月度
3月度	19	27	70.4%	22	27	81.5%	18	27	66.7%	11	22	50.0%	5	22	22.7%	75	125	3月度
計	212	308	68.8%	233	308	75.6%	216	308	70.1%	83	243	34.2%	42	243	17.3%	786	1410	計




会議室利用状況（曜日別）
4月度
5月度
6月度
7月度
8月度
9月度
10月度
11月度
12月度
1月度
2月月度
3月度
月
火
水
木
金
土
日
曜日


会議室利用状況(時間別コマ数)
10-12
13-15
15-17
17-19
19-21
4月度
5月度
6月度
7月度
8月度
9月度
10月度
11月度
12月度
1月度
2月度
3月度


会議室利用状況（曜日/月別）
日
土
金
木
水
火
月
4月度
5月度
6月度
7月度
8月度
9月度
10月度
11月度
12月度
1月度
2月度
3月度

（２）市民活動を支援する環境づくり

令和4年度は新型コロナウィルス感染症予防の対策をとりつつも、開館時間は通常に戻り、利用者も3年度に比べると大幅に増加しました。それに伴い利用者がより安全に気持ちよく利用できる空間づくりを心掛けました。
また、市民活動団体の情報を取りやすくするために、チラシラックやカウンターラックを整えるとともに、自由に情報を検索できるようするため、フリースペース内に貸し出しパソコンを設置しました。
館内掲示に関しては、季節を感じるディスプレイにするなど、利用が楽しく居心地よくなる工夫を施しています。
【課題と評価】
令和４年度は3年度に比べ、利用者数の増加にともない市民活動支援センターも活気を取り戻した年でした。
利用者満足度調査の結果として、センター利用の多くは会議室利用ですが会議室利用の満足度は97．5％、フリースペース利用の満足度も99％と高い評価を受けました。特に評価すべきは、スタッフの対応への満足度が99．5％ということです。今後も利用する方々に、満足してもらえるセンター環境をつくるとともに、職員も市民活動支援をするために必要な能力や経験を研鑽していきます。

２．市民活動を行う者、市民、事業者、市及び地域の相互の連携並びに交流の促進に関する事業（地域・団体連携交流事業）

（１）　はちおうじＮＰＯフェスティバル

八王子で活動する NPO を紹介・発信して八王子の市民活動を知ってもらうと同時に、市民との交流の場として多くの市民に市民活動に興味をもってもらうために毎年開催しています。

日時	テーマ・内　容	参加者	会　場
11月3日 （木・祝）	はちおうじ NPO ファスティバル 2022 ～八王子で活躍する市民活動団体が大集合！ 魅力あふれる NPO の活動にふれよう！～ ・展示 ・体験（ワークショップ） ・物販 ・フードトラック ・ステージパフォーマンス （第 1・第 2 ステージ合わせて23プログラム）	65 団体 約2900名	東京たま未来メッセ展示場

【課題と評価】
令和４年10月にオープンしたばかりの東京都立多摩産業交流センター「東京たま未来メッセ」にて開催しました。新しく大きな天候に左右されない会場は出展参加団体、来場者ともに好評で、関係者ふくめ2900名以上の参加者で賑わいました。用意した 80 のブースはすべて埋まり、2つのステージでのパフォーマンスも好評でした。NPO フェスティバルの名前のとおり、NPO（市民活動）団体のお祭りとして、団体も市民もともに一日楽しんで交流できた会となりました。また、多くの学生ボランティアが参加し手伝ってくれたことは、若い世代に市民活動に興味をもってもらう契機になったと思います。
課題としては、①会場の費用が高額であること、②2 つのステージの音が交錯して騒々しいとの苦情や感想が寄せられたことは今後開催の参考にしたいと思います。

（２） 交流会

協働の場づくりのための市民活動団体の交流会は、団体同士の横の連携だけでなく、行政や公共的性質を持った組織にも呼び掛け、興味のある市民も募り、テーマ別・分野別等の様々な視点から開催しています。
2022 年度は交流会をテーマ別（子育て・まちづくり・中高生地域参加・SDGs de 地域連携・共生社会）に 5 回開催しました。開催内容は以下の通りです。

日時	テーマ・内 容	参加者	会場
7 月 10 日（日）	子育てをみんなで支えるまちづくり 子育て分野交流会 ・多世代（30～80 代） ・「交流会のおかげでつながった方々とコラボ企画ができた」、「交流会がきっかけに活動をはじめた」、「同じ地域の団体と繋がって、一緒に活動している」との報告があった。	34 名	学園都市センターギャラリーホール
8 月 4 日（木）	みんなで考えるまちづくり 当初計画した八王子市内の中高生による政策コンテストは新型コロナウィルス感染症感染者急増のために延期とした。 そのため、10 月に延期した「中高生のまちづくりアイディアコンテスト」のプレイベント的な位置づけとして、過去の地方創生アイデアコンテストで評価が高かった中高生の提案をインターネット視聴し、その後、八王子のまちづくりをみんなで考える交流会とした。	17 名	学園都市センターギャラリーホール
10 月 2 日（日）	中高生によるまちづくりアイディアコンテスト ・聖パウロ高等学校ハンドベルクワイアの皆さんからの提案 ・参加の市民、企業、市議などからアドバイス ・意見交換	15 名	八王子市市民活動支援センター会議室
2 月 19 日（日）	SDGs でまちづくり＆地域連携交流会 SDGs カードゲームを通してまちづくり・地域連携を考える ・小学生～80 代までの多世代が参加 ・「SDGs de 地方創生」カードゲームを通して、まちづくり・地域連携を肌で体験できる、自分たちの行動によって未来のまちはどうなるのかをシミュレーションする	24 名	子安市民センター第1・2 会議室
3 月 18 日（日）	誰でもできるニュースポーツを体験し、インクルーシブな社会を考える ・簡単で、子供や高齢者や障がいのある人でも誰でもできるニュースポーツを一緒にすることを通じてインクルーシブな社会を考えるきっかけとする	31 名	子安市民センター体育室

【課題と評価】
・1 年を通して、参加者数は 121 名、交流会をきっかけにつながった団体数（事後報告）21 団体、交流会をきっかけにセンターを知った方、市民活動に興味を持っていただいた方、センターに団体登録していただいた団体 2 団

体、交流会をきっかけに参加団体に加入した一般参加者 5 名がいて、協働の場、連携の場づくりとして良い結果を出すことができました。
・毎回のアンケートの結果で、「とても良かった・良かった」が全体の 96%を超え、「ぜひまたやってほしい」、「参加して良かった」などのコメントをいただき、参加者にとって満足のいく内容だったと思います。市民や団体が連携のきっかけを求めていることがわかりました。

（３）センター1 日出張

市民活動支援センターのサポートを受けたくとも、交通アクセスが不便等の理由で利用を抑えている団体があります。市民活動のより一層の広がりを目的として、中央地区以外で出張支所の開設を試行しました

日時	テーマ・内容	参加者	会場
5 月 17 日 （火）	東部地区　出張市民活動支援センター 担当：力石、上野、堤、籏野 ・はちコミねっと（リニューアル）の説明 ・ゆめおりファンドの紹介、相談 ・支援センター事業紹介 ・相談 ・地域連携	・はちコミねっと関係：7 件 ・ファンド関係：4 件 ・支援センター事業紹介： 1 名 ・相談：3名 団体設立 1 名 組織関係 1 名 活動関係 1 名 ・地域連携：4 名	生涯学習センター 南大沢分館第 2 会議室。
1月27日 （金）	西部地区 担当：力石、上野、堤、籏野 ・市民活動支援センターの業務一般 （はちコミねっとの操作方法、ゆめおりファンドの紹介、登録、その他の相談）	・市民活動団体　6 ・生涯学習センター職員 1 名 ・市職員　3 名 ・高齢者あんしん相談センター　4 か所	川口やまゆり館 川口市民センター会議室2

【課題と評価】
「センター出張」を 2 回実施し、多くの方の意見・ニーズ等を聞くことができました。地域連携のサポート、新たな連携先を発見することもできました。地域によって、求められること、活動内容やカラーが異なり、気づきが多く大変勉強になりました。出張を機に、新規団体登録、地域内でのコラボ企画、はちコミねっとの普及、センター事業の周知などができ、はじめての取り組みとして試行的に始めましたがとても良い結果となり、令和 5 年度も引き続きこの事業を行う予定です。

（４）NPO 八王子会議

日時	テーマ・内容	参加者	会場
2 月 26 日 （日）	これまでの 20 年で NPO はどう変革したのか ～市民活動発展のために必要なこと～ ・基調講演　　松原　明（協力世界　主宰）	50 名	東京たま未来メッセ 第 1 会議室

	・話題提供 ① 行政と協働　藤岡一昭（八王子自治研究センター） ② 市民から求められる公益的活動の変遷 ～協働労働という働き方と労働者協働組合法～ 扶蘓 文重（ワーカーズコープ東京三多摩山梨事業本部本部長） ③ 協働から共創へ　落合兼二郎（はちねこ） ・意見交換～これからの NPO に期待されること～		

【課題と評価】

3 年ぶりに会場での対面開催となり、50名を超える参加者がありました。

2022年11月に指定管理者である八王子市民活動協議会が、2023年6月には市民活動支援センターが開設から20年が経ち、八王子市や地域、市民の市民活動に対する期待も同じ年月を重ねてきたと言えます。この20年で市民活動に期待される役割や存在意義に変遷があるのではないか、これからの NPO に期待されることは何か、課題は何かを改めて考え意見交換を行いました。この20年を振り返る機会として良い会になったと思います。参加者からは「時代と共に変化してきた政策と NPO の位置づけをよく理解できた」、「歴史と今後の方向を簡潔にまとめていただいた」、「市民活動の大切さを実感した」などのコメントがありました。今後は、ここで出た意見や議論をそのままにするのではなく、フィードバックするための議論を行う会を設けることが必要です。

3. 市民活動に係る情報の収集及び提供に関する事業

（１）広報紙「SUPPORT802」について

本年度制作した広報紙の概要は以下の通りです。

発行号数	発行日	特集記事【取材団体】	発行部数
第108号	令和 4 年 5 月	八王子でつながる二人の偉人（後編） ～ハインリヒ・シュリーマンの見た「桑都」八王子～	5,000 部
第109号	令和4年 7 月	ファシリテーション、できていますか？ ～ファシリテーション勉強会「アンディ」の取り組み～	5,000 部
第110号	令和4年 9 月	「はちおうじ NPO フェスティバル 2022」 ～市民が主役のイベントをわたしたちといっしょにやりましょう！～	5,000 部
第111号	令和4年 11 月	すべての人に、活字の世界を届けるために ～「声のボランティア」知っていますか？～	5,000 部
第112号	令和 5 年 1 月	八王子コミュニティ応援サイト「はちコミねっと」リニューアル ～新しくなった「はちコミねっと」を利用して地域で活動しませんか？～	5,000 部
第113号	令和 5 年 3 月	ニュースポーツから広がる世界 ～誰もが楽しめる、レクリエーションとして生まれたスポーツの魅力～	5,000 部

主な配布先：センター登録団体、八王子市民活動協議会会員、八王子市関係所管、市内公共施設、市内郵便局、中間支援団体、八王子市商工会議所、八王子まち・なか休憩所、市内 NPO 団体、配布希望町会・自治会、配布希望大学、
その他（八王子センター元気、八王子レクリェーション協会、紙面掲載団体）、市内イトーヨーカドー
【課題と評価】
令和 4 年度はひきつづきコロナ禍ではあったが、感染症蔓延防止の対策をとりながら、市民活動も復活の兆しを感じられる一年でした。広報では広報紙 SUPPORT802 のみならずメールマガジンや Facebook 等で支援センターイベントを紹介したり、市民活動団体の活動を「はちコミねっと」と整合して発信し情報を提供しました。第 98 号から導入を始めた QR コードも定番となり、活字では伝えきれない情報をリアルな感覚で提供できることは、多方面より高評を得ています。また、助成金情報やイベント情報にも QR コードを取り入れて、「はちコミねっと」の各ページにリンクさせ、情報の入手をしやすく工夫しました。
今年度は広報ミーティングで次号の取り組み計画を話し合い、取り掛かりを前倒しに進めてきました。特に初稿の読み合せは ZOOM を併用して、スタッフが直接意見を交わすようにし、スタッフ間の理解の齟齬や内容の重複がないようにさらにブラッシュアップできたと思います。スタッフ間の情報はサイボウズを中心に紙面共有を図りました。制作スケジュールを意識するあまり、誤字等のチェックや表現の統一性を徹底できなかった点が大きな反省点として挙げられ、今後の重要な改善点です。

（２）メールマガジン「SUPPORT802 だより」

号数	配信日	主な内容
No.159	4/01	*巻頭言：「新年度をむかえて」 *「新はちコミねっと」説明会＊支援講座「地域活動や市民活動で活かすメタバースの作り方体験講座」
No.160	5/01	*巻頭言：「ものごとを歴史的に捉えること」未来は現在を生きる私たちの選択から創造されていく *「はちコミねっと」個別講習　ほか
No.161	6/04	*巻頭言　：支援講座『Facebook ページ入門講座』 *「　はちコミねっと」新システム *交流会【子育てをみんなで支えるまちづくり】　ほか
No.162	7/02	*巻頭言：ファシリテーションについて *実践講座「ブータン山の教室」映画上映とミニ講座 *交流会「中高生によるグループディスカッション」　ほか
No.163	8/06	*巻頭言：「アクティブ防災訓練」NPO 法人国際ボランティア学生協会 IVUSA とともに *「NPO パワーアップ講座」全 6 回 *「はちコミねっと」新システム移行について　　ほか
No.164	9/06	*巻頭言「そこにしかないもの」への関心が愛着に変わり、豊かさが生まれる *交流会「中高生によるまちづくりコンテスト」*アクティブ市民塾 *NPO パワーアップ講座　　ほか
No.165	10/06	*巻頭言：「はちおうじ NPO フェスティバル 2022」の会場「東京たま未来メッセ」について *アクティブ市民塾「食で地域を支える二つの団体を知ろう」 *「市民活動支援講座【プロボノを活用してみませんか？】 *NPO パワーアップ講座　ほか
No.166	11/10	*巻頭言：八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」リニューアル *支援講座 【「動画」で伝える！あなたの活動】　ほか
No.167	12/02	*巻頭言：SNS で取り組みを発信すれば市民活動も社会に影響を与える「メディア」となる *支援講座【思いを伝える広報紙　*NPO パワーアップ講座 ＊ 支援講座オンライン動画視聴で学ぶ お金の勘定・会計から知るNPOらしさ　ほか

No.168	1/11	*巻頭言:今年やってみたいことを書き出してみよう *SDGs de まちづくり＆地域連携 *八王子市市民活動支援センター1 日出張 in 西部地区(川口)
No.169	2/08	*巻頭言:「大雪の冬～立春を迎えて」 * アクティブ市民塾＊パワーアップ講座 最終回＊地域連携事業(SDGs) ＊「第 9 回NPO会議」のご案内＊「はちコミねっと」講習会 ほか
No.170	3/07	＊巻頭言:「ニュースポーツを体験してみませんか」3月 9 日(日)交流会とコラボ記事 ＊はちコミねっと」講習会 ＊相談業務*助成金情報 ほか

【評価と課題】

メルマガは月一で発信できましたが、原稿提出にばらつきがあり日程が不定期になってしまいました。

来年度は発信日程を区切って発信日程を絞っていきたいと思います。

メールマガジンは基本的には購読希望申込制ですが、センターFacebook に投稿したり、センター内にプリントアウトしたものを掲示して、一人でも多くの方の目に触れる機会を作り読者獲得を図りました。参加申し込みが増える傾向にありますが、例えば、事業計画への取り組みや後日談など、簡単なコメントを加えることにより、事業への読者の関心を高めるべく取り組んできました。ひきつづき読者をどう広げていくか、SNS を活用しながら情報手段として知名度を上げていきたいと考えます。

広報紙「SUPPORT802」、メールマガジンのほかに充実を図っていきたいのが Facebook、ツイッターなどの SNS のほか、センター内の掲示についても、利用者に来所の楽しみと同時に中間支援組織として有意義な情報を得られる施設づくりを図っていきたいと考えます。季節を感じる装飾や普段の利用者との交流の様子など大きなイベントだけでなく「『日々是好日』支援センター」を目指します。

(3)八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」の登録・保守および活性化

年間登録団体数 :41 団体

年間登録抹消団体数 :32 団体 ※はちコミねっとリニューアル時

年間説明会・講習会参加団体数:33 団体 ※5 月～8 月、10 月はリニューアル準備の為お休み

参加人数 : 33 名

年間個別講習参加団体数 :72 団体 参加人数 : 73 名

助成金 :78 件

講座・イベント情報 :287 件

仲間募集 :21 件

活動レポート :364 件

ブログ :10 件

お知らせ :17 件

① はちコミねっとリニューアルを 4 月から本格的に行い、11 月にリニューアルオープンしました。

・団体へのお知らせと移行の意思確認がない団体には、現在も対応中。

・元気 365 と打ち合わせを複数回

・団体への説明会(Zoom、対面)、対応(電話、Zoom、対面)

・旧システムの凍結、新システム試験運用への対応

・凍結中の情報発信として、はちコミねっとだよりを発行
・操作説明動画の作成
はちコミねっと用の基本的な内容で作成した。
・マニュアル作成
はちコミねっと用の基本的な内容で作成した。
・講習会、個別講習、個別相談会の開催
まとめて全部の講習ではなく、2 回に分けた内容で分りやすくなるよう工夫した。
・トラブル対応
元気 365 と連絡を取り合い、随時対応。
・西部地区と東部地区へ 1 日出張し、はちコミねっとに関する相談を受けた。

新はちコミねっとは、新しい機能が多くあり、慣れている方は問題なく使いこなせる為、不慣れな方に重点を置いて準備を行った。
作成した動画やマニュアルがよく使われているようだ。
基本講習会、個別相談会は今後も毎月継続予定。

② ホームページの改善を、昨年から引き続き行った。
・新着情報と活動レポートの紐づけが完成。
・イベント報告に写真を複数枚掲載可能になった。

【課題と評価】
課題としては、リニューアルに向けて、登録団体の意思確認を行ったが、返事が返ってこない団体が多数ありました。登録団体との連絡の取り方についての工夫が必要だと感じます。
既製システムの為、要望通りにいかない事が多々あるので、対処方法を検討したいと思います。
評価としては、既製システムを八王子用にすり合わせることが必要で、何度も打ち合わせを行いました。
旧システムと操作方法が大きく異なる為、システム業者による専門的なマニュアルや動画では分かりづらく、市民団体向けに作成するなど創意工夫をしました。また、パソコン初心者に重点を置いた内容で構成した基本講座や個別相談会を開催し、手厚く対応しました。

４．市民活動に係る啓発及び人材育成に関する事業

団体の基盤、信頼性、広報力等を強化する事業及び、市民活動紹介や啓発となる事業活動を進めています。

1. パワーアップ講座 〈7 回〉 各 10 団体前後

◆ 方針： 市民活動団体がスキルアップする連続的な講座を行なう。また、参加団体同士の交流の場となるような開催形式とする

実績： 下記内容で全 7 回の開催が完了した　　会場:クリエイトホール　第 2 学習室

No.	開催日	分野	テーマ	講師	参加団体数 参加者数
1	2022/ 8/24(水)	組織＆	強くあたたかい組織・コミュニティをつくるポイント	CR ﾌｧｸﾄﾘｰ 豊田 有希	7 団体 12 名(Z:1)

2	9/14(水)	ひと	みんなの気持ちが「グッ！」と高まるミーティングの基本	CR ﾌｧｸﾄﾘｰ 高橋 葉子	10 団体 18 名(Z:2)
3	10/19(水)	会計＆ 資金調達	市民活動団体の会計	脇坂税務会計事務所 脇坂 誠也	12 団体 18 名(Z:6)
4	11/16(水)		市民活動団体の資金調達 ～善意の資金の集め方～	ﾌｧﾝﾄﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞﾗﾎﾞ 徳永 洋子	10 団体 19 名(Z:8)
5	12/14(水)		審査員の視点から学ぶ 「助成金申請書の書き方」	NPO ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 小堀 悠	9 団体 19 名(Z:8)
6	2023/ 1/25(水)	情報発信	人が集まる講座と チラシの作り方	男女共同参画おおた 坂田 静香	16 団体 36 名
7	2/16(木)	プロボノ	その「困った」をサポートします これが八王子のプロボノだ！	ｾﾝﾀｰ職員 堤、籏野 ﾌﾟﾛﾎﾞﾉﾜｰｶｰ	6 団体 17 名

※補足 ・会場は全てクリエイトホール第 2 学習室

・全 7 回を通しで申し込んだ団体は、8 団体

・第 1 回～5 回は Zoom 配信あり、第 6～7 回はグループワークが主体のため Zoom 無しとした。

【課題と評価】

・1 年を通しての参加団体数/参加者数は、2021 年度:69 団体/119 名、2022 年度:70 団体/139 名と、市民活動に興味を持つ参加者を(17%)増やすことができました。

・全 7 回の講座で集めたアンケートは 104 件、このうち 100 件(=96%)で「とても良い～良い」という高評価をいただきました。どの講座も実践的で理解しやすく、グループワークでの意見交換なども参考になったことから、活動にすぐに役立つことが期待され、参加者にとって満足のいく内容だったと思います。

・一方、参加団体数を増やしたいと考え、チラシや広報はちおうじでの紹介も活用させていただき、集客を行いましたが 2021 年度より大きく増やすことはできませんでした。これは、ここ数年、講座のテーマに変化が少なかったことに一因があると考えます。23 年度は、団体にとって新規性を感じるプログラムの構成を企画したいと思います。

2. アクティブ市民塾 〈6 回〉 各 10～40 名

◆ 方針: 市民活動団体が講師となり、実演等も交えながら活動紹介する。参加した市民同士の交流の場ともする。

◆ 実績: 下記内容で全 6 回の開催が完了した

No.	開催日	テーマ / 講師団体	会場	参加者数	担当
1	2022/ 7/1(金)	「就労支援の現場を見にいこう！」 八王子ワークセンター、ひのき工房、結の会	結の会 ひのき工房	11 名	大村
2	8/11 (木・祝)	「子どもが真ん中！ プレーパークを知ろう・体験しよう！」 八王子冒険遊び場の会	宇津貫緑地 みはらし プレーパーク	10 家族 28 名	大村
3	9/28(水)	「あなたのアイデアをかたちにしませんか？」 八王子アイデア発明研究会	クリエイトホール 展示室	25 名	力石

4	10/22（土）	「食で地域を支える」 フードバンク八王子えがお ＆ハッピーステーションきよぴー	ハッピーステーションきよぴー	10 名	力石
5	2023/2/12（日）	学んで・作って・遊ぼう！ 「お手玉の魅力を体験しよう！」 八王子お手玉の会	まち・なかギャラリーホール	24 名	力石
6	3/11（土）	笑いの大研究 「暮らしに笑いを！」 ユーモアあふれる話し方、伝授します ユーモアスピーチの会八王子	まち・なかギャラリーホール	43 名	大村

【課題と評価】

・講座（No.1、2、6）は、講師団体の対象が「障がい者」、「子ども」、「シニア」と広範囲で、社会的に立場の弱い人たちを元気にするような活動を、市民へ紹介することができました。

・この 3 つの講座の中では、「就労支援の現場を見に行こう！」は団体を紹介するスタイルが無かったので、作業場の紹介に加え、八王子ワークセンターの土居さんを中心にして、障がい者の就労支援について意見交換を行なう場を設けました。

・「八王子アイデア発明研究会」と「八王子お手玉の会」は今後活動を支えられるメンバーを募集していて、参加者の中から会員を希望した方がいて、またアクティブ市民塾に参加することでメンバーにいい刺激となったとコメントをいただき、メンバー増員につながりました。、「食で地域を支える　フードバンクえがおとハッピーステーションきよぴー」の両団体は、お互いを知っていたが、薄いつながりだったので、企画の段階で話し合うことが増えて、この企画がつながりを良くするきっかけとなりました。また、若者、地域住民でまだ活動していなかった参加者がいて、その場で「お手伝いしたい」と手をあげていただき、食を通して、居場所・困っている人の支援、食料配布、・シニア世代安否確認等、「食」を共通にしたいろいろなカタチのサポートがあることに気づかされた講座でした。

3．支援講座 〈8 回〉 各 7 名～25 名　オンライン併用

方針：NPOや市民活動団体向けに、市民活動の支援となる講座を行なう。

No.	開催日	テーマ	講師	会場	定員/実績	担当
1	4/29（金）	メタバース作り方体験講座	浜野	支援センター及びオンライン	30 名/27 名	浜野
2	5/19（木）	ZOOM 講座	大村	支援センター	10 名/8 名	大村
3	6/11（土）	Facebook ページ入門講座	力石	支援センター	10 名/9 名	力石
4	7/7（木）	Google フォームを使ってみよう	望月 上野	支援センター	12 名/10 名	望月 上野
5	8/19（金）	NPO 活動に役立つ 簡単チラシの作り方	鈴木	支援センター	10 名/12 名	鈴木
6	9/1（木）	防災脳を活性化する！ NPO 活動に備える防災講座	※	支援センター	12 名/10 名	岡崎

7	10/21（金）	市民活動を支援する 「プロボノ」を活用してみませんか？	石山 恒貴	学園都市センター 第 5 セミナー室	10 団体 /24 名	籏野 堤
8	12/4（日）	「動画」で伝える！あなたの活動 VLLO で学ぶはじめての動画編集	日比野	支援センター	12 名/ 9 名	日比野
9	12/17（土）	オンライン動画視聴で学ぶ お金の勘定・会計から知る NPO らしさ	浜野	支援センター	15 名/ 2 名	浜野
10	2023/ 1/13（金）	思いを伝える広報誌 自分たちの活動の魅力を発信しよう	惟村	支援センター	10 名/ 4 名	惟村

※明治安田生命相互保険会社からの提供講座

【課題と評価】

・昨今話題になっているメタバースを取り上げたり、YouTube 動画視聴等、Web サービスを活用し先駆的な IT 技術にトライした。今後もこうした新しい事柄を取り上げて周知するような講座を検討していきたい。

・ZOOM 講座は、何の機材を使い、どのレベルを対象にするか、そしてハウリングを抑えながら参加者全員が満足いく実習はどうやればできるか？ など、悩む点が多い。2022 年度は、PC を使うホスト向けの講座として ZOOM 中級者を対象者としたが、それでも受講者の PC スキルは幅広く、講座を進める難しさを感じた。2023 年度は、ZOOM アカウント取得などは、講座の前にサポートする対応も検討したい。

・Facebook 講座を2021年度からスタートし、他の SNS との違い、個人ユーザーの基本知識、Facebook ページの作成と活用方法を参加者に教えた。参加者のパソコンリテラシーのレベルが違って、目的であったページ作り・運営ができるまで時間がかかり、講座後のサポートも必要となった。高評価をいただいたが、Facebook が40代以上の世代がメインであること、他の SNS やホームページ作成のニーズが高まっているため、5年度は Facebook 講座を実施せず、HP づくり等に変更となった。

・令和 4 年度は外部講師ではなく、センタースタッフが専門にしていること、得意なことを講座として提供する形式にして全 10 回開催した。スタッフ自ら講師となることにより、事前の学習が必要でもあることからスタッフのスキルアップにもつながったと思う。

・いまだコロナ禍が続く令和 4 年度であったため、密を避けた小さな講座を数多く開くことは選択肢も広がり団体への支援としては有効であったと評価する。また、企業からの寄付講座も導入し、予算削減の面からも効果があった。

・無料で簡単に使えるGoogleフォームをとりあげたが、すぐにでも使う予定のある方が多く、興味を持って参加いただいた。近年の傾向として、アンケートやイベント申込み、意見の投票などをオンラインで実施したいというニーズの高まりがうかがえた。参加者の多くはパソコン操作に慣れていたため、講座も比較的スムーズに行うことができ、内容も評価をいただけたと思う。今後、応用例なども紹介したい。

・動画制作については一定程度のスマートフォン・パソコン操作に習熟している必要があり、レベルのばらつきによるきめこまやかな対応が物理的に可能かどうかが懸念点であったが、参加者アンケートによると、講座参加前に「動画編集の経験がある」または「チャレンジしたけれどうまくいかなかった」と回答した方は合計 85%に及ぶなど、「動画編集に挑戦して一度挫折した人が、改めて学ぶ場」として講座が機能したのではないかと分析できる。

・広報紙のいわゆる「文章の書き方」を中心とした企画。参加者の全員がすでに所属団体で広報業務に携わっていただけに、むしろ構成を中心とした内容に質問が集中した。「文章」という極めてアナログな部分の重要性は不変であるが、画像の取入れ方やQRコードについては、内容に広がりを持たせたり、補完するものとして興味をもって頂いた。

４．実践講座　〈1 回〉　50～100名

◆　方針：市民向けに、NPOや市民活動の普及や啓発となるような講座を行なう。

No.	開催日	テーマ	講師	会場	定員／実績	担当
1	７／２９（金）	「幸福度を高めるコミュニティの活力と NPO」 ～映画：ブータン「山の教室」から地域コミュニティの大切さを学ぶ ① 観る前のブータン予備知識 ② 映画「ブータン山の教室」 ③ ミニ講座「幸福度を高める地域コミュニティの大切さ」	岡崎理香	学園都市センター 12 階ホール	110 名 ／ 101 名	岡崎

【課題と評価】

・令和 5 年度から発効する八王子市の総合計画「八王子未来デザイン 2040」でも「地域自治」と「共創」が「未来を拓く原動力」と記載があるように、「地域コミュニティの活力」が地域づくり、まちづくりには必要です。その大切さと自分の住む地域への愛着を子ども達にも気づいてほしいとの目的で、地域コミュニティの活力を幸福度の指標としているブータン王国の映画「山の教室」（文部科学省推薦）の鑑賞と「幸福度」についてのミニ講座を、夏休みイベントとして企画しました。期待に反して子どもの参加は少なかったが、定員 110 名に対し、それを大幅に超える申し込みがあり、この講座への期待の大きさを感じました。

・地域コミュニティとNPO（市民活動）の関係や連携のテーマはこれからも取り上げていきたいと思います。

５．ゆめおりファンド事業

（１）団体情報開示支援

1）ゆめおりファンド認証団体・登録団体（全体）

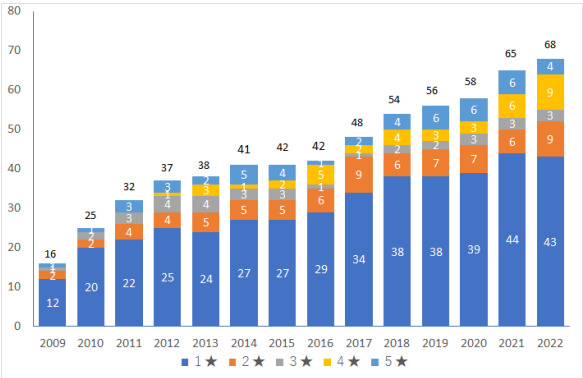
■　ゆめおりファンドの認証・登録団体の推移を次グラフに示します。2022 年度は 68 団体です。

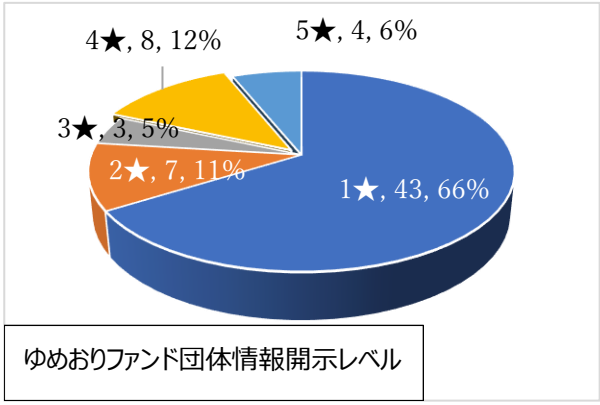
■　新規登録団体は、NPO 法人エチオピアの多国籍共同体（1★）、start up あさひ塾（1★）、一般社団法人まもりすくん（2★）、なぎのは（1★）の 4 団体です。

■　68 団体の情報開示状況を次グラフに示します。認証団体は 16 団体（23%）、登録団体は 52 団体（77%）となっています。

認証団体：CANPAN 団体情報開示度が 3★～5★

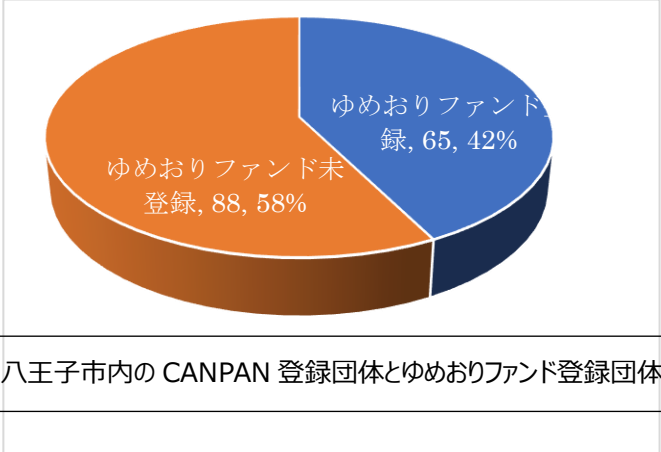
登録団体：CANPAN 団体情報開示度が 1★、2★



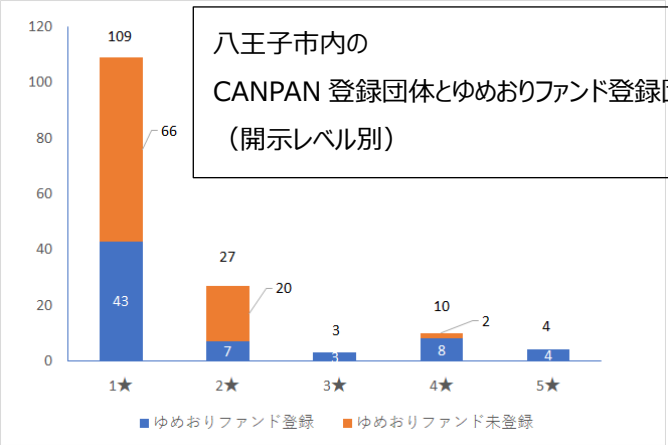


2)ゆめおりファンド認証団体・登録団体(八王子市内)

■八王子市内における CANPAN 登録団体とゆめおりファンド登録団体の比率を次グラフに示します。
CANPAN 登録 153 団体中、ゆめおりファンド登録団体は 65 団体、未登録は 88 団体となっています。



八王子市内の CANPAN 登録団体とゆめおりファンド登録団体



■上記グラフを開示レベル別でみると次グラフの通りです。
認証団体は4★の2団体が未登録であることが分かります。

ゆめおりファンド認証・登録回体 (2023/4/1)	登録団体		認証団体			計
	1★	2★	3★	4★	5★	
	43	9	3	9	4	68
CANPAN更新(3年以内)	16	0	3	7	4	30
CANPAN更新(3年以前)	26	8	0	1	0	35
主たる事業所(八王子市外)	1	1	0	1	0	3
八王子市内CANPAN登録	109	27	3	10	4	153

3)課題と今後の進め方

■ 登録に関する課題と今後の進め方を次表に示します。

課題	今後の進め方
・3★以上の認証団体比率が 23%と低い	・4★でゆめおりファンド未登録の 2 団体に登録を勧める ・1★、2★の登録団体の★アップを支援する
・1★、2★団体の 68%が3年以内の情報更新できていない	・更新と★アップを支援する
・市内の CANPAN 登録団体153団体中 90 団体がゆめおりファンド未登録	・ゆめおりファンドを PR し登録を支援する

■　認知・PR に関する課題と今後の進め方を次表に示します。

課題	今後の進め方
・ 多くの団体はゆめおりファンドの支援を知らない	・ 従来の支援センターHP、広報、ちらし、講座、説明会などを通じた情報発信を継続する
・ ゆめおりファンド認証・登録団体以外の団体への情報発信が不足している	・ 「はちコミねっと」に支援情報をアップする ・ 「はちコミねっと」登録時にスタッフからゆめおりファンド紹介と登録勧誘を継続していただく

■　企業・大学との連携
物品支援だけでなくプロボノによる人財支援及びセンター事業との連携・共創を念頭に今後の進め方を次表に示します。

課題	今後の進め方
・ 寄付いただいた企業様との関係が一過性に終わっている	・ 支援センターの広報など送付し関係を維持する ・ 訪問を再開する
・ コロカ禍で大学・高専との関係が希薄になっている	・ 訪問を再開する
・ 感謝状贈呈時期がまちまち（団体からの活用報告を待っていた）	・ 感謝状贈呈の内規を作成・実行する

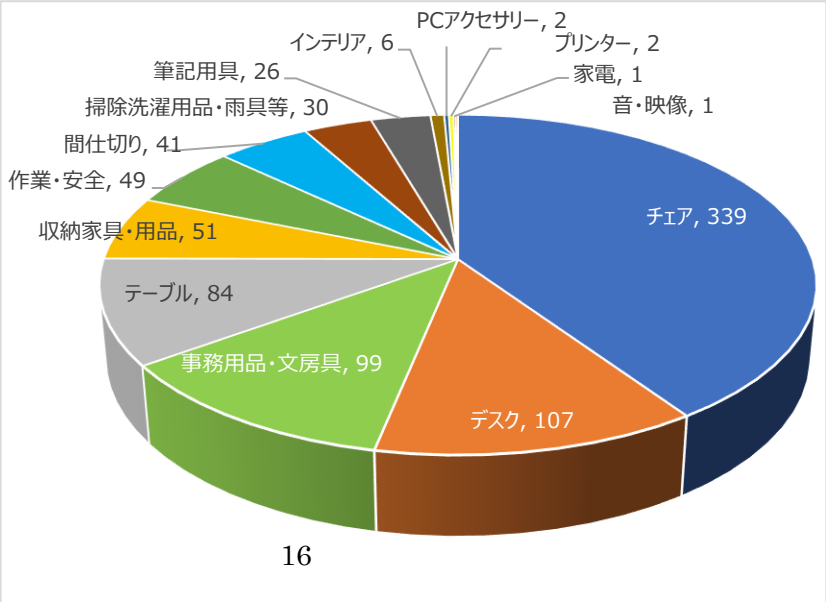
（２）物品の支援

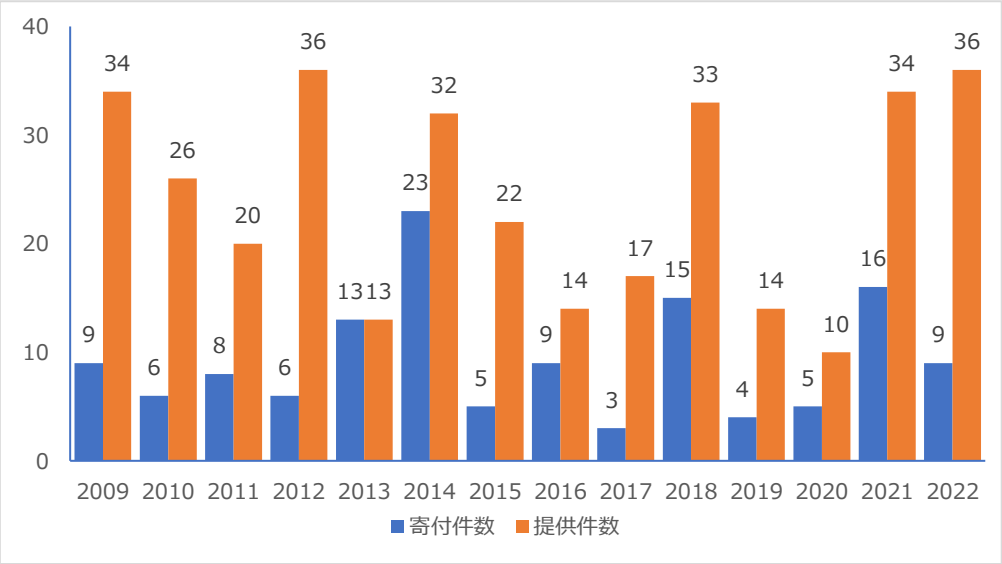
１）寄付・提供実績（件数）

■　物品寄付・提供の推移を次グラフに示します。

■　大塚電子株式会社様から文房具類、オリンパス株式会社様から事務室什器類、インフロニアホールディングス株式会社様（コーユーレンティア株式会社様）から事務室什器類、株式会社ジャノメ様から手帳など、個人からのプリンターやPCアクセサリーなど計9件寄付いただきました。

■　団体への提供実績は計 36 件でした。特に今回は、寄付いただきましたオリンパス株式会社様の社会貢献への熱意とご厚意から、西東京市（3 団体）、日野市（2 件）小平市（1 件）と計6件提供することができました。





2)寄付物品の概要

分類	数量	内容
チェア	339	OAチェア、ミーティングチェア、丸椅子、折畳椅子
デスク	107	平机、脇机
事務用品・文房具	99	付替フレーム、２穴パンチ、ホッチキス、ガチャダマ、各種シール、各種テープ
テーブル	84	フォールディングテーブル、木目調折畳みテーブル、四角テーブル、電話置
収納家具・用品	51	書庫（キャビネット３段・ラテラル３段）、大型書庫、９人用ロッカー
作業・安全	49	緊急用毛布、幼児用ヘルメット
間仕切り	41	パーテーション（大きさ・形状など11種類）
掃除洗濯用品・雨具等	30	化粧石鹸、消毒用洗剤、ビニール傘、コロコロ
筆記用具	26	鉛筆、色鉛筆、ボールペン、替え芯、マジックインキ、マーカー
インテリア	6	丸時計、置時計、置物、花瓶
PCアクセサリー	2	27インチモニター
プリンター	2	複合プリンター
家電	1	複合プリンター
音・映像	1	3Dレコーダー
ファイル	多数	リングファイル、コピー用紙、リフィル
ノート・紙製品	多数	マルチペ＾パー、各種
その他	多数	丸時計、置時計、テーブルタップ、2023年カレンダー、手帳

３）提供先

（ア）ほっとスペース八王子（プリンター・時計・ファイル）、いちょうまつり祭典委員会（チェア・テーブル等）、たんぽぽの輪（文房具類）

（イ）防災・災害ボランティアかわせみ（チェア）いちょう祭り祭典委員会（デスク・テーブル・チェア）、蕗の会（デスク・チェア）、ひなげし（チェア・キャビネット）、チャイルドライフ（デスク・テーブル・チェア・間仕切り）、いきいき福祉会（チェア・間仕切り）、しあわせのたね（デスク・テーブル・チェア・間仕切り）、日野すみれ会（テーブル）、みずき福祉会（チェア・テーブル・間仕切り等）、なみき福祉会（デスク・チェア・テーブル・キャビネット）、子どもアミーゴ西東京（チェア・間仕切り）、日野市民活動ネットワーク（テーブル・チェア・間仕切り）、中央地区環境市民会議（チェア）、ミモザ（テーブル・チェア）、ぶるーべっりー愛犬ふぁみりー協会（キャビネット）、八王子ウインドアンサンブル（キャビネット）八王

子市社会福祉協議会（デスク・テーブル・チェア・間仕切り等）、コミュニティーネットワーク協会（デスク・チェア）、マルベリー東京パイロットクラブ（チェア）、ひよどり山中学校（チェア・キャビネット）、からまつ（キャビネット）

(ウ) マルベリー東京パイロットクラブ（テーブル・プリンター・立替フレーム）

(エ) エチオピアの多国籍共同体（レコーダー・チェア・デスク・テレビ・時計・事務用品・ファイル等）

(オ) からまつ（幼児用ヘルメット・洗濯用品）

(カ) 二十歳のピロリ菌チェックを推進する会（チェア・デスク・テーブル・キャビネット）

(キ) CES（チェア・ロッカー）

(ク) まもりすくん（事務用品・文房具・紙製品）

４）活用報告

- コーユーレンティア株式会社様の紹介で寄付いただいた西松建設様、パーキングソリューションズ株式会社様、活用報告と感謝状（八王子市と協議会）を贈呈いたしました。またインフロニア・ホールディングス株式会社様へ活用報告いたしました。
- 立川市の某企業様へ活用報告と感謝状（協議会）を贈呈しました。
- オリンパス株式会社様へ活用報告と感謝状（八王子市と協議会）を贈呈いたしました。

（３）人財の支援

１）今年度の概要

2022年度の実績は、①多摩陽光台自治会（新Website 構築）、②武蔵野会（施設利用者及び OB のための情伝達ツール開設）、③FAN eyes（銀行口座の開設）の3件です。

2 年前には福祉部が「地域の縁結びプロジェクト」と銘打ったプロボノを始めたり、今年度は協働推進課においても町自連におけるプロボノを開始しました。これら2部署のプロボノは、いずれも高齢者の活動支援の観点で捉えたもので、ハードルの低さや場合によっては謝金も得られるようなものになっています。

一方、私たちのプロボノは分かり難いと言われますが、支えるワーカーも支えられる団体も、市民活動を力強く推進していく目的を鮮明にしたのもです。

しかし、支援センターのプロボノは、年間3件程度の実績は維持してきたものの、ワーカーの確保、団体のニーズ集積の両面を基にしたマッチングで成り立つものですが、登録者数を増やしていっても、具体的な課題を提示できないまま日時が経つと意欲が失せていく傾向が見られました。

このような背景のもと、昨年度は志民塾、それに加えて今年度はパワーアップ講座の一コマにプロボノを採り上げて頂き、分かり難さの克服に努めました。また、コロナ前は毎年一回実施してきたプロボノ説明会も、従来のサービスグラント型を一旦外れ、石山先生を講師に招聘して実施しました。

６．調査研究活動

（１）施設利用者満足度調査

令和 4 年度も施設利用満足度調査を令和 5 年1月～2月に行いました。結果は支援センターホームページに公開しています。スタッフについての対応などの満足度については「満足」と「やや満足」を合わせて 99.5%であり、ほぼすべての来所者が満足と答えています。また自由意見では、「丁寧」、「親切」という言葉が多くあり、スタッフの運営姿勢が好評価を得ている結果だと思われます。センター全体の満足度は99%であり、ほぼすべての人が満足と感じていることがわかります。今後のセンター運営に役立ててまいります。

詳細は別紙添付の「利用者満足度調査報告書」を参照ください。

（２）NPO マニュアル（改訂版）

10 年前に発刊してセンタースタッフの相談業務にもテキスト的に使用してきた「NPO マニュアル」の改訂版を発刊しました。月日とともに変更のあるものを見直し、現在の状況に合った内容にしています。

【課題と評価】

利用満足度調査の結果は、「満足」、「やや満足」で99%となり、引き続き高評価をいただきました。自由記述ではスタッフの対応が良い、センターの雰囲気が明るくなった、コロナ感染予防の対応が良いなど、センターを利用する方々に気持ちよく利用してもらおうとの努力が認められた形となり、スタッフのこれからの励みにもなりました。一方で予約の方法などに不満のある方も見受けられ、今後の検討課題です。

７．市民活動に係る相談に関する事業

（１）相談対応及び専門相談

支援センター業務の大きな柱である相談業務は、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な考え方で対応しています。相談は1回で終わりにせず、いわばリピーターとして何度も来ていただき、さまざまな視点からの助言と提案を心掛けて対応しました。

専門相談は第三者委託制度の活用やNPO法人との提携により、経理、労務、税務等の相談に対応しています。

「市民活動団体（法人格の無い NPO）」に所属する相談者が一番多く、全体の 51%であった。次いで「個人」、「NPO 法人」となり、八王子市内ではある一定数の団体が法人格を持たずに NPO 活動を継続していることがわかる。

相談の目的は「団体運営」が一番多く、団体をどう進めていくか模索している相談が多い。「団体設立」も多く、これから団体を作ろうと考えて来所する人も一定数存在している。「利用問合せ」も多く、はちコミねっとをリニューアルした影響もあると思われる。

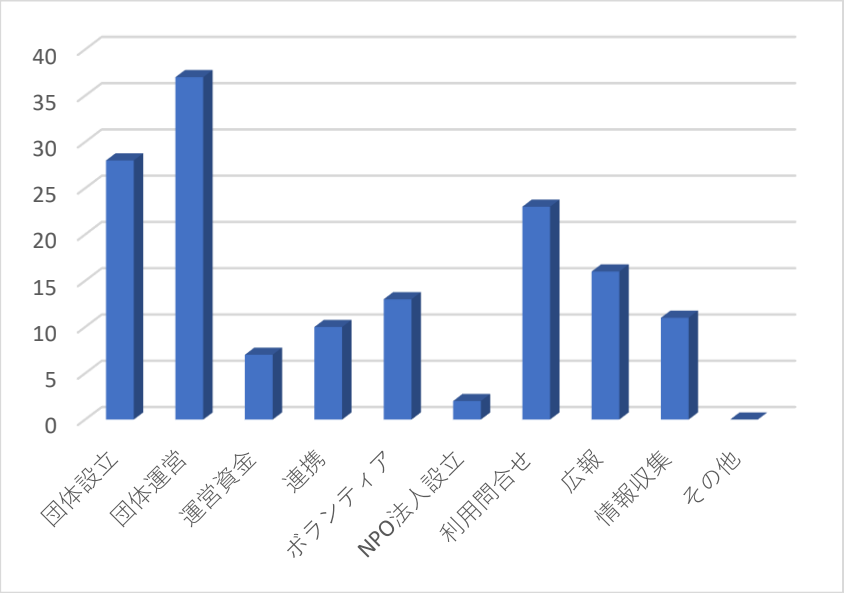
※添付資料参照：「令和 4 年度相談業務まとめ」

【課題と評価】

令和4年度も、NPO 法人設立、NPO 法人運営、団体の会計、助成金獲得や効果的な広報、他との連携等様々な相談があり、これら一つ一つに真摯に対応しましたが、同時にスタッフの知識や能力の向上という点も課題の一つです。今後もスキルアップに努めるために、研修や研究をしていきます。

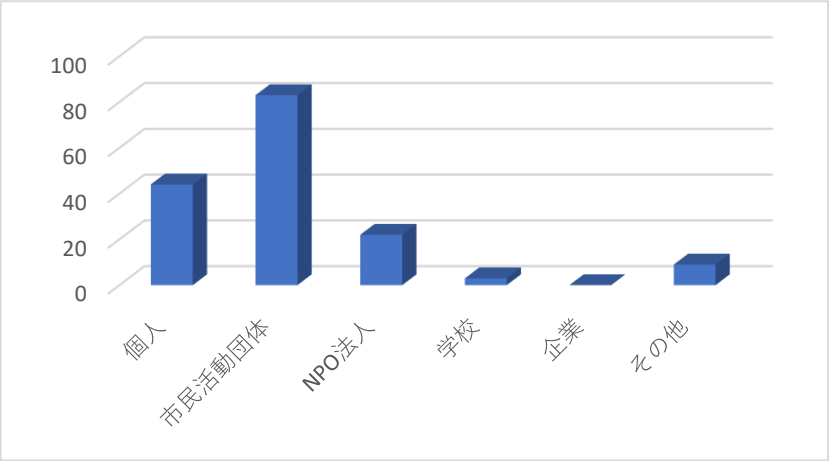
また、NPO 活動の図書館機能を目指して資料コーナーの充実を引き続き計画していきます。

4年度は 3 年度に続き相談をきっかけとして登録する団体も例年より多くあり、他団体との連携につなげるなど、センターのミッションの一つである「つなげる」「連携」にも貢献できました。



相談者の目的

団体設立	28
団体運営	37
運営資金	7
連携	10
ボランティア	13
NPO法人設立	2
利用問合せ	23
広報	16
情報収集	11
その他	0
合計	147



相談者の所属

個人	44
市民活動団体	83
NPO法人	22
学校	3
企業	0
その他	9
合計	161